

まほろば秦野通信

令和6年2月13日

タイトル	県央やまなみ地域の市町村職員 「エコ通勤デー」を実施します
When (いつ)	3月8日(金曜日)
Where (どこで)	厚木市、伊勢原市、愛川町、清川村及び秦野市の職員
Who (だれが)	
What (なにを)	5市町村が連携し、「エコ通勤デー」として自家用車などでの通勤自粛を各自治体の職員に呼び掛けます。
How (どのように)	
Why (なぜ)	昨年7月に締結した「県央やまなみ地域における広域連携の強化に関する協定」における連携事項である、「カーボンニュートラルの実現」に向け、環境負荷の低減や公共交通を利用することの重要性をアピールするとともに、自治体職員として環境に対する意識を高めるため
過去の実績	「エコ通勤デー」を県央やまなみ地域で連携して実施するのは今回が初めて。
今後の取り組み	当市では、毎週水曜日を「ノーマイカーデー」として自動車通勤などの自粛を呼び掛けていますが、3月の2週目は当事業を実施するため、3月8日(金曜日)に変更します。
問い合わせ	交通住宅課 公共交通担当：遠藤 電話：0463(82)9644

県央やまなみ地域の市町村職員による



エコ通勤デー

エコ通勤デーとは

二酸化炭素排出量削減と交通混雑緩和を目的として、日頃自家用車で通勤している職員の皆様に、路線バス等の公共交通機関の利用や、徒歩、自転車、エコカー、相乗り、在宅勤務等の選択をしていただく取組です。

県央やまなみ地域での広域的な実施

県央やまなみ地域の厚木市、秦野市、伊勢原市、愛川町及び清川村を一つの広域的な行政圏域として捉え、これまでの以上の緊密な相互連携を通じて、様々な分野における行政課題の解決に取り組むこと等を目的とした「県央やまなみ地域における広域連携の強化に関する協定」が令和5年7月18日に締結され、各種事業について連携していくこととなりました。

自家用車等の利用をできる範囲で控え、多様な交通手段を適度を選択することで、地球や人にやさしい車社会について考えるきっかけとなることを目指し、エコ通勤デーに広域的に取り組めます。

連携事項の

カーボンニュートラルの実現に向けた調査研究に関する取組として、5市町村が連携し、参加可能な職員の皆様を対象に実施します。



職員の活動による移動範囲は行政区域を超えるもの

であり、広域的に**公共交通の利用**を促すことも重要です。

自家用車による排出ガスや騒音などの環境負荷の軽減や、多様な交通手段の選択について、5市町村が広域的に連携し、コミュニケーションを通じて働き掛けることで、職員の移動手段における行動の

自発的な意識付けを目指します。

・厚木市都市計画課 ☎(046)225-2357

・秦野市交通住宅課 ☎(0463)82-9644

・伊勢原市環境対策課 ☎(0463)94-4737、都市政策課 ☎(0463)94-4742

・愛川町企画政策課 ☎(046)285-6924

・清川村政策推進課 ☎(046)288-1213

県央やまなみ地域での 「エコ通勤デー」の実施について

1 目的

SDGsやカーボンニュートラルの達成に向け、一人一人の二酸化炭素排出量削減に関する意識を高め、幅広い年代への公共交通の利用を促進する「モビリティ・マネジメント」の取組として、自家用車等の利用抑制と路線バスなどの公共交通の利用促進を目的とします。

2 事業概要

5市町村職員が参加する「エコ通勤デー」として、自家用車等での通勤自粛を呼び掛け、環境負荷の低減や、公共交通を利用することの重要性をアピールするとともに、自治体職員として環境行動に対する意識を高めます。

3 参加対象者

県央やまなみ地域5市町村（厚木市、秦野市、伊勢原市、愛川町、清川村）に勤務する職員

4 実施日

令和6年3月8日（金）

5 実施方法

路線バス等の公共交通の利用や徒歩、自転車、エコカー、相乗り、在宅勤務等を選択することにより、できる範囲で自家用車の利用を控えて通勤していただきます。

たとえば・・・

自家用車での出勤を1日控えると、一人当たり約4.5キログラムの二酸化炭素の削減につながります。これは、500mlのペットボトル4,500本分の体積に相当します。



二酸化炭素

出典（公財）交通エコロジー・モビリティ財団
「実績報告時CO2削減量計算例シート」ホームページ